



日差しの穏やかな初夏のような暖かい日があったかと思えば、急に気温が下がって冬に逆戻りしたりと、変化の大きい季節の変わり目の陽気に戸惑いながらも、確実に春の訪れが近いことを実感する時季となりました。コロナやインフルエンザ等感染症の不安も続く中、自然災害によって困難な状況にある方々、戦禍の恐怖と不安にある国々に思いを寄せ祈りつつ「ひとりの小さな手通信 第36号」をお届けします。

能登半島地震から2か月近くが経ちました。甚大な被害とその後も片付けや復旧がなかなか進まない状況に心痛む思いをしていましたが、2月に入り、コカリナ奏者の黒坂黒太郎さんの奥様であるソプラノ歌手矢口周美さんからお声がけをいただき、被災して避難生活をしている能登の中高生にトートバッグを送ろうという活動のお手伝いを始めることができました。東日本大震災の際も黒坂さんから、DVDを作って、被災地にコカリナの演奏とメッセージを届けようというお声がけをいただいたことが「ひとりの小さな手」の活動のきっかけとなりました。先の見えないつらい状況にある方々のことを思うと、何をしたらよいのだろうか、自分たちに何ができるのだろうかと無力感に苛まれてしまうのですが、苦難の中にある方々が少しでも笑顔になっていただけるようなことを考え、私たちの「忘れない」を届けていきたいと思えます。日々の私たちの生活の中に当たり前のように存在している全ての人、全てのものに改めて感謝し、自分の周りに小さな平和を作り出せる者として過ごしていきたいと思います。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば 強くなれる強くなれる

◇活動報告 2023年11月～

○第24回 チャリティーコンサート

・2023年11月23日(祝・木)

「高田さんと有紀子さんとけろちゃん」

ピアノ 高田ひろ子さん

ソプラノ 渡邊有紀子さん

ありがとう！



昨年11月、ジャズピアニストの高田ひろ子さんとソプラノの渡邊有紀子さんをお迎えし、第24回 チャリティーコンサートが開かれました。たくさん子どもたちも来場し、幼稚園の人気者ケロちゃんと一緒に楽しいコンサートとなりました。コンサートの最後には、お二人の演奏に合わせ、皆で「ありがとうの花」を歌い、歌の歌詞と子どもたちの歌声に礼拝堂がほっこり温かい空気に包まれました。高田さんの温かく優しいピアノの音色、渡邊さんの明るく伸びやかな歌声に心豊かなひと時をいただき、多くの方々と共に、東日本大震災をはじめさまざまな自然災害で被災された方々、戦禍の中にあるウクライナの人々に思いを寄せ、祈ることができましたことに心より感謝申し上げます。手作り手芸品、手作りケーキのバザーにもご協力いただき、ありがとうございました。

| | |
|---------|---------|
| チケット代金 | 66,500円 |
| 手作り品バザー | 87,100円 |
| ケーキバザー | 35,000円 |
| 募 金 | 7,700円 |
| 献 金 | 4,000円 |

募 金 48,285円
(1月19日現在)

○被災地との交流、支援

・2023年12月

ポーランド在住の坂本龍太郎さんを通してウクライナの子どもたちへ
200,000円

・2023年12月

第63回生すみれ組卒園生保護者 ウクライナ出身の清水ターニャさんを通して

寒さ対策のためカイロを買う資金として
50,000円

◇ポーランド在住の坂本龍太郎さんよりメッセージをいただきました。
坂本さんが、支援のお礼のメッセージを送って下さいました。
私たちにできることは小さいですが、長引く戦禍の中にいる人々のことを忘れることなく、私たちにできることを考え、祈り続けていきたいと思ひます。

野毛山キリストの教会と野毛山幼稚園の子ども達、そして関係者の皆様へ

この度も、ウクライナへの支援金をお寄せ下さり心より感謝申し上げます。

戦争が始まってからじき2年となり、世界ではウクライナ以外にも中東でも戦争が勃発し、日本では能登で地震が起きました。

世界各地で支援を必要としている人々がいますが、その全てに関心を寄せることはとても難しいことです。

ウクライナでの戦争は特に今、世界からの関心が薄まっています。しかしながら戦争で孤児になってしまう子ども達、家を失う人々、故郷を追われる避難民、物価高、失業率の上昇など状況は悪化する一方です。

そのため、ウクライナの人々は今まで以上に支援を必要としています。

今回皆さんからいただいた支援金、確実にウクライナの子ども達に必要な物資に変えて届けたいと思ひます。

みなさんからいただいた支援で、多くの子ども達が救われていること、笑顔が生み出されていることをぜひ知っていただければと思ひます。

どうぞこれからも、ニュースであまり取り上げられなくても、戦争で苦しんでいる子ども達がいることをたまに思い出して下さると幸いです。

引き続きどうぞ関心お寄せください。

2024年1月
坂本 龍太郎

○「奇跡の一本松」の布を使ったトートバッグ作り

被災地やウクライナの支援を続けていらっしゃるコカリナ奏者の黒坂黒太郎さんと奥さまのソプラノ歌手矢口周美さんより、東日本大震災の際に陸前高田市で生き残った「奇跡の一本松」から作った布を送っていただきました。能登半島地震で家庭から離れて避難している中高生にトートバッグを作って送ろうという活動を始めています。野毛山幼稚園の保護者有志や教会の方々にトートバッグ作りをしています。

◇今後の予定

第25回 チャリティコンサート

日時 2024年3月20日(祝・水)
15:00 開場 15:30 開演
出演 バイオリン 中西 俊博さん
ピアノ 瀬田 創太さん



「ひとりの小さな手」 第1回 チャリティーコンサートに出演して下さった中西俊博さんをお迎えします。震災から13年の東日本大震災の被災地、能登半島地震の被災地、戦禍にあるウクライナ、困難な状況にある方々に心を寄せて祈りつつ、多くの方々と共に豊かな時を過ごしたいと願っています。どうぞご予約いただきますようお願いいたします。

主な曲目 ♪ 星に願いを
♪ ニューシネマパラダイス
♪ NHK 大河ドラマ
「光る君へ」 劇中歌 他

出演



中西 俊博 violin

東京芸術大学卒業。ポップスバイオリン、エレキバイオリンの先駆者的存在として知られている。多様なジャンルを表現するバイオリン奏者として常に音楽界の第一線で活躍し、5弦・6弦・15弦バイオリンをも自在に操る。ジャズバイオリンの巨匠ステファン・グラッペリ、フランク・シナトラ、クインシー・ジョーンズ等、国内外のアーティストとも共演。坂本龍一、久石譲、桑田佳祐、Mr.Children、井上陽水、布袋寅泰、大貫妙子などのアルバム制作をはじめ、数多くの楽曲制作、編曲、演奏を担当。NHK 趣味悠々「バイオリンは友だち」ではバイオリニスト・千住真理子とともにW講師を務めた。作曲したテレビCM曲は150本以上、「釣りバカ日誌」「さらば愛しき人よ」などの映画やドラマ音楽も手掛けている。ゲーム音楽「マリオカート」ではバイオリンソロを担当。近年のNHK連続テレビ小説「スカーレット」に続き、2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」では劇中曲でソロ演奏を担当している。



瀬田 創太 piano

1984年8月18日生まれ、A型、洗草生まれ、お祭り育ち。幼少からクラシックピアノを長澤律子氏に学び音楽の楽しさを知る。2002年洗足学園音楽大学 ジャズ科に入学。ピアノをユキアリマサ氏に師事。ジャンル、形態問わず、常に音楽的であることを目指してレコーディングやライブ等幅広く活動中。

次回チャリティーコンサート 11月23日(祝)の予定です！

発行 2024年2月22日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園
根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子